

ぜにかめざわ

令和6年8月27日 第6号

一人ひとりが輝く



〈自立〉**か**しこく 〈共生〉**や**さしく 〈創造〉**た**くましく

「かやたの子！」

主体的に表現し、学び続ける子を目指して

学びづくり 一戸 勝允

今年度、本校では「主体的に表現し、学び続ける子の育成」を目指し、個別最適な学び、協働的な学びを推進しています。現代社会は、変化が早く、多様な価値観が共存する社会です。このような社会で生きていくためには、受動的に知識をため込むだけではなく、蓄えた知識を使って自ら考え、判断し、行動する力が求められます。個別最適な学びと協働的な学びは、子どもたちがこのような力を育む上で非常に重要です。

個別最適な学びとは？

一人ひとりの子どもたちの個性や学び方、進度に合わせて、学習内容や方法を調整していくことです。子どもたち一人ひとりに合った学習をすることで、得意なことは伸ばし、苦手なことは克服することができます。

協働的な学びとは？

子どもたちがお互いに学び合い、意見交換をすることです。友達と協力して課題を解決したり、お互いに教え合ったりする中で、コミュニケーション能力や協働性が身に付きます。また、多様な考え方に触れることで、自分の考えを深めることもできます。

具体的にはどのような取組をするの？

本校では以下のような取組を行います。

- ・AIドリル「スマイルネクスト」で一人ひとりの学習状況を把握し、よりよい学習計画を子どもたちと立てていきます。ドキュメントなどのアプリを利用して、意見の交流や共同作業など、協働的な学びに活用します。
- ・「課題の設定」→「情報の収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の過程を学習の中で繰り返し、子どもたちの問題発見力・問題解決力を育みます。
- ・教師主導ではなく、「何を」「誰と」「どのように」学ぶか、子どもたちに自己決定させる場面を設けます。



よくあるご質問

Q. 個別最適な学びでは、子どもが一人ぼっちになってしまうのではないですか？

A. 個別最適な学びは、あくまでも出発点です。例えばある課題に対して、自分の考えをまとめるのは個人で行い、その後グループや全体で意見交流する学習を通して、他の児童生徒と協力し、学び合っていきます。

Q. 子どもが下の学年の問題を解いているとバカにされたり、笑われたりするのではないですか？

A. 誰も得意・不得意があるのは当然のことです。一人ひとりの違いを認め合い、多様性を尊重する学級の雰囲気作りに努めるとともに、他者との比較ではなく、自分の成長に焦点をあてていくことを子どもたちに指導していきます。

Q. 協働的な学びは、いつもグループでやるのですか？

A. 誰と学ぶか、何人で学ぶかについても子どもたちが自己決定できるようになるのが理想です。仲が良い児童と一緒に勉強するだけでなく、自分と違う考えの人の意見を聞くなど、学習の目的に合わせて適切な学習形態を選択できるよう指導します。

Q. 子どもが自分で学習を進められるか不安です。

A. 初めは何を学習してよいか戸惑う子どもも多くいることと思います。そのような児童には担任と一緒に課題を考えたり、課題解決の場面では教科書のどこを読み取るか助言したりするなど、一人ひとりの学習状況を担任が把握し、一人ひとりにあったアドバイス、声かけをしていきます。

Q. クロームブックの使い方が心配です。

A. クロームブックの使い方は、4月にお配りした「クロームブックの使い方」をもとに、学級で繰り返し指導します。おうちの方もぜひお子さんと一緒にクロームブックを使ってみてください。クロームブックの使い方でお気になることがありましたら、学校までご相談ください。

〈9月の主な予定〉

- 2日(月) アウトリーチ(和太鼓体験) 5, 6年生
- 4日(水) スクールカウンセラー来校 12:30~16:30
- 6日(金) 非行防止教室 5, 6年生
- 7日(土) 家庭学習強調週間(～7/19)
- 9日(月) 5時間授業(給食あり)

- 10日(火) 避難訓練 ALT来校
- 13日(金) ニコニコウオーク
- 16日(月) 敬老の日(祝日によりお休み)
- 23日(月) 振替休日(秋分の日)
- 25日(水) 函館空港出前講座 5年生
- 27日(金) 午前授業(給食あり)
- 30日(月) 学習参観 学級懇談のびゆく子配付

